

FUJIEDA ROTARY CLUB

Weekly Bulletin

例 会： 毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL：054-641-3321

事務局： 藤枝市青木1-9-16 TEL：054-647-2300 FAX：054-647-2040

E-mail: club1972@fujieda-rotary.org

会長：青島 克郎 副会長：松葉 隆夫 幹事：仲田 廣志 副幹事：増田 國衛

第1778回

<ソング> 君が代・奉仕の理想

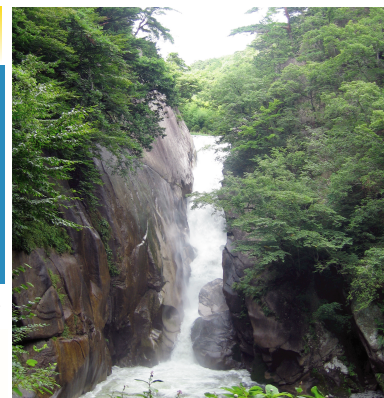
<ソングリーダー> 増田 國衛君



2008-2009年度 RIテーマ

夢をかたちに

李 東建



昇仙峡の滝

写真提供：鈴木 舜光君

■ 会長報告

青島 克郎君

本日はガバナー補佐を公式にお迎えしてのクラブ協議会です。大石訓永(のりなが)ガバナー補佐様、倉島伸康事務局長様にはお忙しい中を当クラブのためにお越し頂き誠に有り難うございます。

当年度もう既に2ヶ月が経過いたしました。後藤会員増強委員長には懸命なご努力をされていたいておりますが残念ながらまだ先の見えない状況でございます。

先日は会員増強で素晴らしい成果を上げられておりますパワー浜松RCの原田道子さんに卓話において頂きパワー浜松RCの会員増強活動についてお話いただきました。パワー浜松RCは早朝に例会が開かれますし会員の年齢層も若く会員数も100名と当クラブとは大分状況が違いますので同じ手法で増強対策は出来ないかも知れませんが参考になるお話は聞けたと思います。

当クラブの従来の新会員増強のやり方はどなたか会員の知り合いを候補に挙げていただき勧誘をするという方法ですが、候補者名は上がっても具体的に勧誘に出かける処までたどり着けたものは少なく、なかなか結果が出せませんでした。

原田さんのお話の中でクラブにとって必要な職業の方でどうしても仲間に入りたい人物に的を絞ってあらゆる方法で接触の機会を模索し誘う、例えば卓話をお願いし、それをきっかけにして入会を勧めるという事例も伺いました。

本日はこの後、大石ガバナー補佐にご指導いただきながら会員増強について3つの班に分かれ協議をしていただきますが何とか今後の増強活動に

生かし目標の純増3名、確保2名を達成してゆきたいと思います。

皆さんの活発なご意見を期待し会長報告とさせていただきます。

■ 理事会報告

仲田 廣志君

- 9月、10月のプログラムが承認されました。
- 9月3日のクラブ協議会の次第について再確認が行われました。
- 10月1日のガバナー公式訪問例会についての協議が行われました。
- 地区大会出席者の仮登録について協議が行われました。
- 次年度会長指名の委員について協議が行われました。委員会編成は、従来のルールに添った形で編成することで承認されました。
指名委員長の渡辺君には早急に指名委員会を立ち上げていただき、次回の理事会で、39代会長受諾の報告をしていただくようお願いをしました。
- 少年サッカーリーグ戦表彰式出席者の確認が行われました。
- 藤枝市民ゴルフ大会協賛について協議が行われ、例年通り、10,000円協賛する事で承認されました。
- 例会用テーブルクロス更新の件について協議が行われました。
- 10月度の理事会は9月24日(水)12:30～小杉苑で開催されることになりました。

■ 幹事報告

仲田 廣志君

- ロータリー友事務所より「ロータリーの友」英語

版が届いております。

- ガバナー事務所より、メールでロータリー研究会、成川研修リーダーより「RI長期計画とクラブの取り組み」のアンケートが届いております。
- 国際ロータリー世界本部より、ゲイツ財団による補助金とロータリーによる国際寄附について説明書が届いております。
- ガバナー事務所よりメールでガバナー月信No 3 2008年9月号が届いております。

■ 出席報告

増田 國衛君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
28 / 36 77.78%	27 / 35 77.14%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○平君 ○水野君 飯塚君 板倉君 落合君
鈴木舜君 仲田晃君 望月志君

(2)メイクアップ者

松葉 義之君(藤枝南) 杉山 静一君(藤枝南)
櫻井 龍太君(藤枝南)

■ ビジター

大石 訓永ガバナー補佐

倉嶋 伸康ガバナー補佐事務局長

水野 一保君(清水中央) 殿村 元二郎君(藤枝南)

■ スマイルBOX

- 昨日、家内がシンガポール旅行から帰国しました。私がいただいたフォトスタンドを見るなり「うぁ～これ素敵」と感嘆の声。シンガポールの植物園で撮った「一人ポーズをバッチリ決めた写真」をその中へ。家内がいただいたエコバックには関心なし。まったく困ったものです。エコバックを下げていた私を見かけたら、慰み言葉でもお掛けください。
- 先月21日にそれぞれ58回目と56回目の誕生日を揃って迎えました。「夫婦揃っての誕生日」は極めて稀なケースと聞きます。
- これも必然と受け止め、一回々、大事に積み重ねて行きたいと思います。この度は大変有難うござ

いました。

スマイル累計額 286,000円

■ 委員会報告

『職場訪問例会のご案内』

職業奉仕担当 春原 良則君

来る10月15日(水)の例会は、職場訪問例会です。東海ガス(株)様を訪問致します。見学時間は1時間位を予定しております。小杉苑にて例会・食事後に出発致します。お忙しい所誠に恐縮ですがご参加を宜しくお願い致します。

日時 平成20年10月15日(水) 12:30～

場所 東海ガス(株)

焼津市塩津74番地の3

TEL 054-628-7151

日程 12:30 例会(会長報告・幹事報告)・食事

13:00 出発

13:30 ～工場見学

■ ガバナー補佐訪問

『クラブ協議会』

大石ガバナー補佐主旨の説明

3人の会員の方からの意見発表

a. ロータリークラブ会員である意義

酒向 謙次君

b. こうすれば楽しいロータリーになる

大塚 博巳君

c. 新会員勧誘のポイントは

松葉 隆夫君

テーブルごとにディスカッション

ガバナー補佐からの総括



『ロータリークラブ
会員である意義』

酒向 謙次君



私は、ロータリーに入会して意義なるものを考えたことはありませんでしたし、又、ロータリー活動なるものを真剣に考えたこともありませんでした。しかし、職業奉仕委員会、奉仕プロジェクト委員会に携わるようになって、ロータリー活動を自分の頭で考えてみました。ロータリーの基本は、職業奉仕と親睦である。

職業奉仕の考え方は、本当に発祥の地アメリカのプロテスタントの考え方そのものです。しかし、これは、現実的であって実効性のあるものです。高い倫理観を持って事業に臨まないと発展、継続性はないと。また、一人では高い倫理観はなかなか保てない、だから、同業種でない他業種の友を持つと。だから、定期的にあって職業倫理を高めていこうと。このように考えていくと、非常に分かりやすい。現実の事業運営は、非常に難しいものである。

高い理念を持って、世界の人々の相互理解、平和を究極的な目的として日々の活動を自分の足元から実行していく。また、そのプログラムを各国、各地域で実行していくことが、世界に貢献して行くことに繋がっていくのです。120万人の世界のロータリアンの行動は、本当に大きいものです。何故なら、ロータリアンは、地域のリーダー達です。影響力のある人たちの集団なんです。こう考えると、事業主が頑張っていることは、当然ですが、これが世界に直結した行動に繋がっていくのは、ロータリー活動に参加していればこそなんです。私は、職業倫理と世界平和を直結させたロータリー活動は、この不安定な世界状況だからこそ、本当に重要なものと考えています。会員増強の意味を真剣に考えないといけません。真剣に考えていくと楽しみが生じること実感した次第です。

『こうすれば楽しい
ロータリーになる』

大塚 博巳君



「ロータリーの友」を走り読みではありましたが、2~3か月分の記事から「“楽しい”という事業があるか？」・・・探してみました。

しかし、子供が参加しての事業において「子供達の楽しそうなにぎやかな声会場で響き渡りました・・・」というような記事は投稿されていましたが、一般の記事からは探すのに苦労をします。もちろん、大人が活動をする会でありますので、表現を変えて投稿しているとは思いますが・・・。ロータリーの活動では楽しいものはないのでしょうか？

私たちは日々の生活で大人であっても、楽しいことは一杯あります。たとえばプライベートの酒席、懇親会あるいは二次会で騒ぐとき etc、満面の笑み、にぎやかな会となります。また、同好会、趣味の会ではあたりまえにお互いが蘊蓄を傾け、これも会話が弾みます。これらは「楽しい」の一言に尽きます。その上コミュニケーションが図れます。

藤枝クラブでも同好会（ゴルフ・マージャン・カラオケ・旅行・カメラ etc）があり、これらで特技・趣味を活かし楽しさを見つけることもひとつであると思います。

私もまだ、ロータリアンの経験が浅いので自身で“楽しさ”を見出すことは出来ませんが、クラブの先輩諸氏の活動、あるいは「ロータリーの友」から感じることは、ロータリーの精神を会員が全うしているということです。

奉仕・四つのテスト等、義務感を持って活動し、それにより自身の気持ちの充足感・満足感を得ている。これが“ロータリーの楽しさ”なのではないでしょうか！

したがって、「ロータリーの楽しさ＝ロータリアン

であること」という事になると思います。

私達は今後、地域の多くの人たちにPRし、そんな仲間を増やしていくことが義務であると思います。

『新会員勧誘のポイントは』

松葉 隆夫君



藤枝ロータリークラブの事を相手に熱心に説明し理解していただき、入会に導くよう何回も訪問する。



(担当 / 増田)